

夏のひどい汗かき ストレスの関与も

Q 五十歳、男性、高校教師。身長一六八cmで体重が七三kg。数年前から夏の授業の際、髪の毛の生え際から汗が出て、ハンカチでいくらぬぐっても止まりません。のどが渇くため冷たい麦茶などを飲みますが、飲んだ以上にまた汗が出ます。鉛筆を握っていると手のひらから汗がしたたり落ちることもあります。病院で検査を受けましたが、特に異常なしとのこと。よい漢方薬があれば教えてください。

A 質問者は学生時代にラグビーの選手で、体重は六三kgだったが、この一〇年ぐらいですっかり運動しなくなり、脂肪太りになってしまった、とのことである。また座っているとおしりや陰部に汗がひどく、座布団がぬれるほどという。

本来、汗は体温調節などの正常な生理現象である。しかし過度のストレスや体の熱を上手に発散できない体質の場合、発汗をコントロールする自律神経の機能が失調し、発汗異常が起こる。ストレスが強く関与する場合は柴胡桂枝湯（さいこけいしとう）、柴胡桂枝乾姜湯（さいこけいしかんきょうとう）などが好んで用いられる。質問者の場合は口渴が強く「尿はよく出る」としているの、からだの水分保持能力を高め、体を冷やす作用のある石こうの入った白虎加人参湯（びゃっこかにんじんとう）がよい。

また手のひらの異常発汗には防己黄耆湯（ぼういおうぎとう）や防風通聖散（ぼうふうとうしょうさん）などが使われる。